

会議名 第2回子ども・子育て会議

開催日 令和6(2024)年11月14日	会議時間	開会 AM・PM 10:00 閉会 AM・PM 11:50
会議場所 ニセコ町役場3階 町民ホール	記録者	こども未来課こども未来係 係長 谷井 彩乃
出席者 ニセコ町子ども・子育て会議委員 龍周作、上戸鎖保幸、菊地博、新井融、高井裕子、高橋美紀、徳留真子、淵野伸隆 オブザーバー：保健福祉課長 重森省宏 事務局：こども未来課長 齊藤 徹、こども未来係長 谷井彩乃 (支援委託先)一般社団法人 北海道総合研究調査会(通称：HIT) 調査部次長 切通堅太郎、調査部員 野邊和沙 ※Zoomによる会議参加		
欠席者 ニセコ町子ども・子育て会議委員 片岡直人		

会議日程

- 1 開会(あいさつ：齊藤課長)
- 2 議 題(議事進行：新井会長、説明：齊藤課長)
 - (1)ニセコ町幼児センター、こども館、放課後子ども教室等の状況
 - (2)「第3期ニセコ町子ども・子育て支援事業計画」について ※(一社)HITより説明
- 3 その他
- 4 閉会

会議内容

1 開会

前回の会議にて皆さんから意見を貰ったものを盛り込んで、今回第3期子ども子育て支援事業計画の骨子案及び基本計画の体系案をまとめているので、その内容を話し合えたらと思う。

2 議題

(1) ニセコ町幼児センター、こども館、放課後子ども教室等の状況

ニセコ町幼児センター、こども館、放課後子ども教室等の現在の状況について、齊藤課長より、資料を用いて現在の状況について説明があった。

(2) 「第3期ニセコ町子ども・子育て支援事業計画」について

(一社)HITより、第3期ニセコ町子ども子育て支援事業計画の骨子案（図にしたもの、冊子にしたもの）、第3期の基本目標と体系案を用いて説明があった。

(3) 質疑及び意見交換

委員：5ヵ年計画で人口の推移等まとめられているが、この計画に基づいて事業を進めていく主体は？

→この計画をもとに事業を進めていく主体はニセコ町。行政だけではなくファミリーサポート事業のように官民連携しながら行う事業もある。この計画は5年毎に見直しをして策定していく。

委員：5年の計画期間の中で、途中で改正等必要になった場合は？

→子ども子育て会議を開き、話し合いながら計画の見直し・改正を行う。

委員：パブコメはどの時期にどの頻度で行うのか？また、パブコメで再度意見の吸い上げをした後、計画にどのように反映するのか？

→昨年度行ったニーズ調査及びこの会議が意見の吸い上げとなる。パブコメは計画案を町ホームページで公開し、内容について2週間ほどの期間を設け意見を伺う。その中で追加した方がいいもの、表現方法で修正した方がいいもの等は反映する。

委員：5ヵ年計画だとコロナ禍のようなこともあるので不確定要素が大きいと思う。また、意見の吸い上げについては、CS、町P連など他にも色々意見を言う場があるが、今回のニーズ調査でも同じようなことを聞いていると思った。それぞれの場で都度意見は集約していると思うが、意見集約を部署も含めて一本化し、適切な課に配分して解決する仕組みがあるといい。→意見についてはこういった会議等の集まりだけではなく、いつでも意見は受け付けている（町のHPなども活用可能）。

それぞれの会議で頂いた意見については、役場としても縦割りではなく横の連携しながら対応していくこととしているので、担当でなくても都度情報共有している。

委員：アンケートで出てきた意見については、この会議だけで取り組めないこともある。町P連やCSで解決できることもありそうだと感じた。また、アンケート内容の共有・周知ができ、なおかつ意見集約ができればいい。子ども子育て支援事業計画に基づくアンケートは5年に1回だが、内容の鮮度が落ちていくので、簡易的なアンケートの機会を頻繁に設けることができれば今ある課題の解決にも向かっていくヒントが見つかるのでは。

→内容についてはこども未来課だけでなく関係部署とも連携を図りながら

共有できるようにしていきたい。

委員：内容によっては各学校で行っているアンケートに1問入れてもらうなど、その時々で必要なアンケートを別部署や学校とも連携して、既存のものに入れ込むことができたならより負担が少なく多くの意見を集約できるのではないか。

委員：この事業計画は冊子になるのか。パブコメを行っても、この状態で見られてくれる町民は少ないと思う。見てもらう工夫が必要。

見るとしたら、新規事業の部分やそれぞれの事業に対する担当はどこの部署なのかが分かるように示されると、相談できる内容や相談窓口の情報が保護者に伝わると思う。子育てマップ等の情報冊子も、冊子ではなくQRコードで情報が分かるようにできるといい。

委員：ニセコ町の公式ラインに子育てボタンがあれば、子育てに関する情報にアクセスしやすくしていいのではないか。

委員：子ども子育て支援事業計画は、それをもとにニセコ町（行政）が子育て支援の施策やニーズに対する確保について事業を進めていくものであって、住民に見てもらう用に作っていないところもあると思う。新しいことは増えていくが、こども未来課の現在の職員体制が変わるわけではないので、町民として何か手伝えることがあればと思う。

→計画策定後、計画の体裁だと指摘のとおり分かりづらいと思うので、広報誌を通じて広く分かりやすく内容を案内できればと思う。子育てマップも子育て世帯に配布できた方がいいが、冊子だと情報の鮮度が落ちていくので、web版のマップなど検討できたらと思う。

委員：資料3の13ページの2号認定、3号認定が令和7年度に一時的に人数の増加が見込まれているが、この根拠を教えてください。

→推計人口にニーズ調査の結果を掛け合わせて算出しており、3歳以上の児童が令和7年度だけ出生数・転入が多くなっているため。

委員：資料3の17ページ（7）の令和7年度以降の推計についてだが、コロナの影響を受けた数値でみているようなので、コロナ以前の数値で推計していくのもう一度検討した方がいいのではないか。

→コロナ以前の数を参考としてもう一度推計しなおすこととする（HIT）。

委員：資料2（資料3は11ページ）の視点3と基本目標の3がリンクしていないように感じる。「子どものまちづくり参加」がニセコらしいのではとも思う。また、「子供」なのか「子ども」なのか統一した方がいいのでは。

→再度担当課と検討する（HIT）。

委員：資料3の10ページの課題のところで、「母子分離」という表現があるが、今この時代に「母子」でいいのか、もう一度表現方法を見直してみてもいい。

→再度担当課と検討する（HIT）。

委員：少子化で子どもの人口が減っていくなら、保育士等の職員の数も減らしていいのでは。そもそも減る前提ではなく、減らさないためにどうしたらいいのか、ポジティブ思考でいい循環ができたらいいい。

委員：ニセコらしさで言うと、例えば「英語教育の促進」があると思うが、そういった事業はこの計画に盛り込めないのか。盛り込むのが難しいのであれば資料2の視点3につながる部分で、「英語教育の推進」と記載があるのは

違うのではと感じる。

→視点や基本目標、主な施策について、もう一度内容を精査する。

委員：ニセコ町子どもたちにはもっと自然に出て遊んでほしいという気持ちがある。そういった部分も盛り込めないか。

→この計画は国の子育て支援事業に対するニセコ町のニーズの見込みとそれに対する確保方策について記すものであって、町独自の部分をどこまで盛り込めるかは難しいが、計画に限らず子ども子育て会議は意見を吸い上げる場なので、そういった意見もありがたい。

委員：資料3の20ページ（15）の新規事業である児童育成支援拠点事業について、不登校の子に対する対応（フリースクールなど）を他の近隣自治体で行っている事例があれば、ニセコ町にも不登校の子はいるのでこういった場でまた話し合えるといい。

委員：資料3の17ページ（7）の文言で、ニセコ町幼児センター「きらっと」で実施とあるが、ニセコ町地域子育て支援センター「おひさま」と修正してもらいたい。

→修正して反映する（HIT）。

3 その他

次回会議は、年明け日程調整を行ったうえで改めて通知をする予定。

4 閉会